

地域脱炭素に関する令和7年度概算要求等に関する説明会 資料

- **情報通信インフラ整備加速化パッケージ** …1
- **地域社会DX推進パッケージ事業** …2

令和6年9月
総務省北海道総合通信局

デジタル田園都市国家構想の実現のためには光ファイバ、5G等のデジタル基盤の整備が不可欠であることから、下記の整備目標(デジタル田園都市国家インフラ整備計画(改訂版)R5年4月)に向けて、情報通信インフラ整備を加速化

- 光ファイバ等: 2027年度末までに世帯カバー率99.9%
- 携帯電話: 2030年度末までに5G人口カバー率全国・各都道府県99%
2030年度末までに道路カバー率(高速道路・国道)99%(高速道路については100%) 等

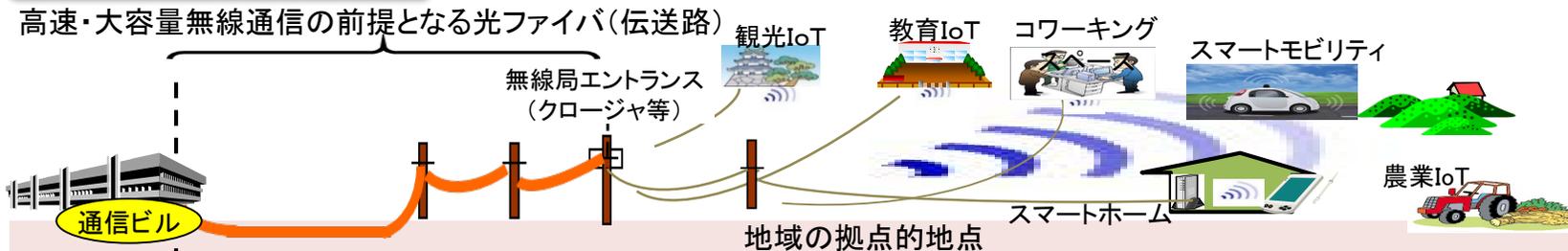
携帯電話基地局の整備加速化



○携帯電話等エリア整備事業

- 条件不利地域において、携帯電話基地局の整備費等の一部を補助

光ファイバの整備加速化



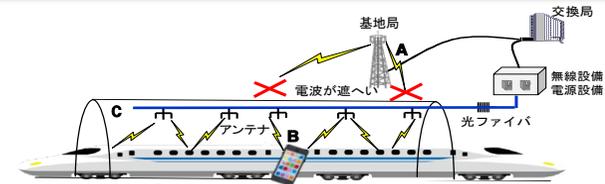
○高度無線環境整備推進事業

- 条件不利地域において、光ファイバの整備費等(離島地域における維持管理費用を含む)の一部を補助

○伝送路設備の効率的な地中化に係る調査

- 伝送路設備の効率的な地中化について、通信ネットワークの敷設状況等を踏まえた調査を実施

トンネル等における移動通信用中継施設の整備加速化



○電波遮へい対策事業

- トンネル等において、移動通信用中継施設の整備費の一部を補助

- 人口減少・少子高齢化や経済構造変化等が進行する中、持続可能な地域社会を形成するには、デジタル技術の実装(地域社会DX)を通じた省力化・地域活性化等による地域社会課題の解決が重要。
- このため、デジタル人材/体制の確保支援、AI・自動運転等の先進的ソリューションや先進無線システムの実証、地域の通信インフラ整備の補助等の総合的な施策を通じて、デジタル実装の好事例を創出し、全国における早期実用化を目指す。

好事例の創出・横展開

③ 地域のデジタル基盤の整備支援 (補助)

デジタル技術を活用して地域課題の解決を図るために必要な通信インフラなどの整備を支援

② 先進的ソリューションの実用化支援 (実証)

AI・自動運転等の検証タイプ

社会課題解決に資する通信システムを用いたAI・自動運転等の先進的なソリューションの実証

先進無線システム活用タイプ

ローカル5Gをはじめとする新しい通信技術などを用いた先進的なソリューションの実用化に向けた実証

① デジタル人材/体制の確保支援

- a) 推進体制構築支援 都道府県を中心とした持続可能な地域のDX推進体制の構築を支援
- b) 計画策定支援 デジタル実装に必要な地域課題の整理、導入・運用計画の策定に対する専門家による助言
- c) 地域情報化アドバイザー 地域情報化アドバイザーによる人材の育成・供給を支援
- d) 人材ハブ機能 デジタル人材を地域外から確保する場合の人材のマッチングを支援

- (事業主体) 地方自治体、民間企業等
- (事業スキーム) 補助事業、実証事業(請負)、調査研究(請負)
- (補助対象) 通信インフラ整備費等
- (補助率) 1/2
- (計画年度) 令和7年度～令和9年度

令和7年度要求額 1,499百万円(新規)